



地域のみんなでもちつき大会

大句子ども会は、現在37人が加入し加入率は100パーセントになっています。子ども会では、腰取神社のお祭りへの参加や夏休みのポウリング大会、映画鑑賞会やお楽しみ会などさまざまなイベントを行っています。

### 広がる交流

役員は大変だと聞いていましたが、今は引き受けて良かったと思っています。地域の人や保護者と顔見知りになり、交流の輪が広がりました。また、子どもが下級生の面倒を見るようになり、成長した一面を見ることができたのもうれしかったです。

### 単子(育成会)

世代を超えた交流を  
大句子ども会育成会 副会長 柏木 貴子さん



役員は大変だと聞いていましたが、今は引き受けて良かったと思っています。地域の人や保護者と顔見知りになり、交流の輪が広がりました。また、子どもが下級生の面倒を見るようになり、成長した一面を見ることができたのもうれしかったです。

### 上級生になって

イベントの合間などに、追いかけて上級生に遊んでもらう。夏休みのラジオ体操に参加したときに上級生が優しく面倒を見てくれたのがとてもうれしくて子ども会に入ろうと思いました。

### 単子(子ども会)

みんなが楽しく  
板戸第三子ども会 山田 優輝くん



昔は、近所の空き地や通学路など全てが遊びのフィールドでした。年齢の違う子が集まり、自分たちで遊びを考えルールを決め、知恵や体力を付けてきました。現代の子は、遊ぶ環境も少なく、遊びを伝える文化もなくなりつつあります。地域よりも家族の時間を大切にする家庭が増え、習い事などで忙しかったため、外遊びや集団で遊ぶ機会が少なくなり、人間関係作りが苦手な子が増えています。

### 地域のつながりが大切

伊勢原市には、古き良き伝統行事も多く残っています。子どもを地域で育てようという意識を持って、今後の活動に取り組んでいきたいと思っています。



県立青少年センター 指導者育成課 川手 隆生 課長

子ども会は、親も子も成長できる場です。違う学年やほかの地域の子、親とも知り合えて交流が広がります。役員の仕事は大変だと思いましたが、実際にやってみるとそんなことはありませんでした。日中仕事をしている人もいますが、役員がうまく分業しながら協力しています。今後は、親も楽しんでやっていけるような子ども会にしていきたいです。

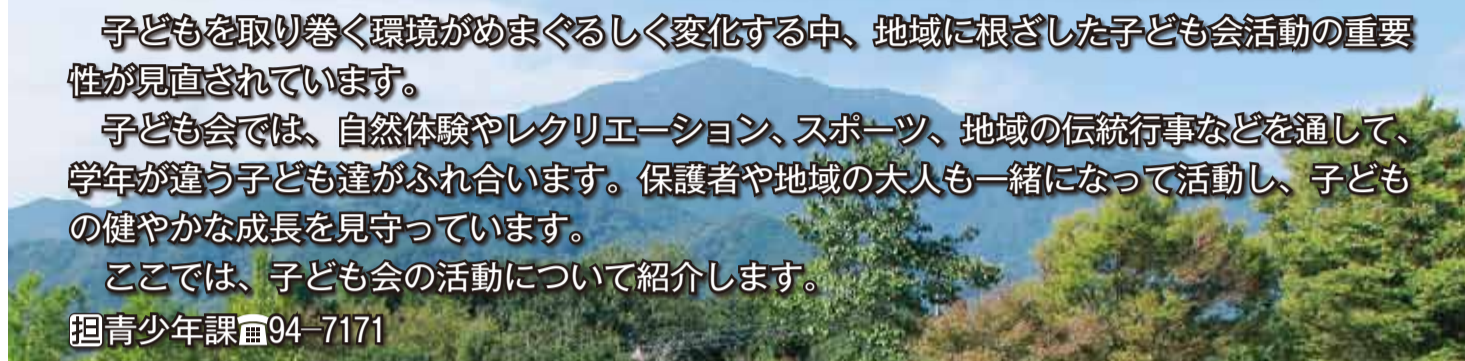
# 地域で育む

## ～伊勢原市子ども会育成会連絡協議会～

子どもを取り巻く環境がめまぐるしく変化中、地域に根ざした子ども会活動の重要性が見直されています。

子ども会では、自然体験やレクリエーション、スポーツ、地域の伝統行事などを通して、学年が違う子ども達がふれ合います。保護者や地域の大人も一緒になって活動し、子どもの健やかな成長を見守っています。

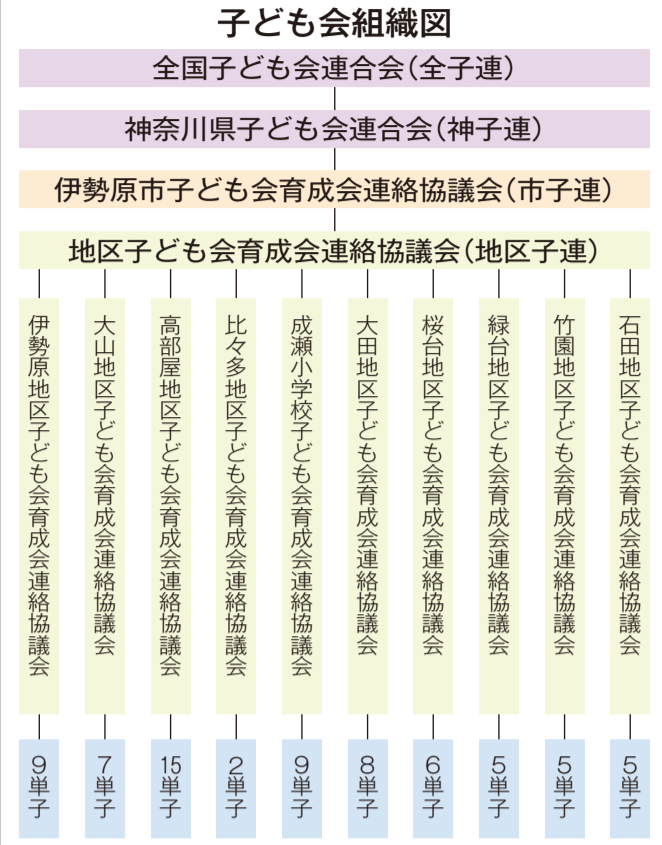
ここでは、子ども会の活動について紹介します。  
担青少年課☎94-7171



### 子ども会Q&A

- Q.何歳から入れるの?  
A.地域によって異なりますが、幼児～中学生が対象です。
- Q.会費は?  
A.1カ月につき一人300円前後が多いようです。
- Q.入りたい場合は?  
A.お近くの子ども会育成会役員へご相談ください。所属する子ども会が分からない場合などは、担当へお問い合わせください。

- Q.「ジュニアリーダー」って?  
A.子ども会を始めとした、地域活動をお手伝いする、中学生・高校生のボランティアです。子どもと大人の間の立場から、活動をサポートします。また、子ども会に加入している小学校5・6年生を「インリーダー」といいます。
- Q.けがなどの補償は?  
A.市子連に加入している3歳以上の子どもには「全国子ども会安全共済会」という保険で補償されます。



子ども会では、子どもの健全な成長を目的としてつくられた任意の団体です。子ども達でつくる「子ども会」と、保護者などをつくる「子ども会育成会」の二つの組織から構成されています。地域と密接に関わることから、自治会単位につくられていることが多く、これを「単子子ども会(単子)」といいます。単子は、小学校区でまとめられた「地区



毎年大盛況のペットボトルロケット大会

市子連ではインリーダーとジュニアリーダーの合同キャンプ研修やペットボトルロケット大会、育成会役員のための指導者研修会などを行っています。今年の合同キャンプ研修は、ジュニアリーダーが主体となって行うジュニア会議と、市子連の役員を交えた研

### 市子連 広がる活躍の場

伊勢原市子ども会育成会連絡協議会  
副会長 足立 徹さん



修を通して準備されました。また、道灌まつりなど市の行事に参加する際には、各子ども会と市のパイプ役にもなります。

### 父親も一緒に

現在子ども会の役員はほとんどが女性です。子どもの成長のためには女性だけでなく男性の力も必要です。そのため、市子連では男性に子ども会の活動を知ってもらおうと、毎年父親と一緒に参加するペットボトルロケット大会を開催しています。参加者からは「参加して良かった、楽しかった」と好評です。10月21日に行なわれた大会では、市内全域から48組の親子が参加し、ペットボトルロケットの飛距離を競い合いました。



小物入れやマグカップを制作

桜台地区子連は、毎年陶芸教室を開催しています。また、今年は初めて6つの単子が合同で新入生歓迎会を開催しました。今後は、子どもを主体にイベントの企画や運営をさせたいと考えています。今回の陶芸教室でも子どもに司会進行や受付、会場設営

### 地区子連 親子で成長できる

桜台地区子ども会育成会連絡協議会  
会長 町田 雅子さん  
相談役 深川小百合さん

### 親も楽しみながら

子ども会は親も子も成長できる場です。違う学年やほかの地域の子、親とも知り合えて交流が広がります。役員の仕事は大変だと思いましたが、実際にやってみるとそんなことはありませんでした。日中仕事をしている人もいますが、役員がうまく分業しながら協力しています。今後は、親も楽しんでやっていけるような子ども会にしていきたいです。

